



人間探求。

進路探究コース「ロールモデル」(全14回)

日本経済新聞『私の履歴書』を題材にドキュメンタリーを創作し、
人の一生を表現することで「人間が大切にしていること」を探求する。

「ロールモデル」では、「私の履歴書」を執筆した先人の人生を題材に
構成や演出を体験的に学びながらドキュメンタリー作品づくりに挑戦します。
他者との対話、自己との対話を通して様々な価値観に向き合い
「人間が大切にしていること」について考えていきます。

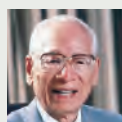
ビジュアルは、現代美術家 桑久保徹氏の作品です。「ロールモデル」ワークブック表紙に掲載しています。
作品名「ポール・セザンヌのスタジオ」 Photo by Kenji Takahashi ©Toru Kuwakubo, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



GOOD
DESIGN

教育と探求社
EDUCA & QUEST





安藤 百福



大賀 典雄



小倉 昌男



佐藤 愛子



立石 一真



田辺 聖子



長嶋 茂雄



仲代 達矢



樋口 武男



日野原 重明



本田 宗一郎



松前 重義



水木 しげる



村上 信夫



森 英恵



副教材
15種類

「ロールモデル」の副教材
『私の履歴書』で選べる先人たち。

「ロールモデル」で生徒たちが変わること

①『私の履歴書』から先人の人生に触れる

新聞独特の表現や現代とは異なる価値観の読み物にも前向きにチャレンジできるよう、『私の履歴書』を読み解くための観点と目的が設計されています。『私の履歴書』を執筆した偉人は、それぞれの夢を実現し、今の日本社会を形づくった日本を代表する方々。彼らの人生に触れるなかで、人生の深さや多様さを味わいます。

②表現手法を体験的に学ぶ

ドキュメンタリー作品を創作していくプロセスがプログラムの中で設計されています。「心の動き」を切り口に先人の人生を読み解き、気持ちの動きから作品のテーマを話し合っ決めていきます。プレストやゲーム形式のワークなど取り組みやすいプロセスで作品づくりに挑戦し、構成や演出について実践を通して学んでいきます。

③自由な創作活動で感性を磨く

表現方法は自由。ドラマのようにその人の一生を演じる場合もあれば、インタビューやバラエティなど、テレビ番組になぞらえて先人の特徴を表現したり、寸劇やパロディ作品としてつくりあげること可能です。自分たちらしい表現方法を探究し実際に体全体をつかって表現することで、生徒たちの中にある豊かな感性が目覚ましていきます。

④真の多様性を育む

ドキュメンタリー作品を創作し、表現したあとで、「人が大切にしていること」について生徒同士で対話をします。一人一人の人生をまるごと表現したからこそ、その人が生きるうえで大切にしていたことを深く多面的に捉えることができます。様々な先人の生き方に触れ、生徒が対話することで、多様な人の価値観に出会い、それぞれの価値観に対する自分なりの考えに向き合うことができます。

概要

実施コマ数 全14回(各50分)

対象 中学生、高校生、大学生

環境 普通教室

※STEP1で動画を見る環境が必要。

教材 ・ワークブック(A4サイズ/84ページ)

・ワークシート(A3サイズ各種、A4サイズ各種)

・動画教材(1本)

・副教材『私の履歴書』(A4サイズ/15種類/各30ページ)

・指導ガイド(A4サイズ/84ページ)先生用

プログラム内容

ステップ	内容	詳細
STEP1~2	先人に出会う	ロールモデルを選び、『私の履歴書』を読み解きます
STEP3~4	テーマを決める	先人の「心の動き」から作品のテーマを決めます
STEP5~10	作品をつくりあげる	構成・演出を考え、リハーサルも行いながら作品を完成させます
STEP11~12	発表会	創作した作品を表現し、互いの作品を鑑賞します
STEP13~14	振り返りと対話	授業全体を振り返るとともに、「人が大切にしていること」について話し合います

お問い合わせ

株式会社教育と探求社 ロールモデル担当

Mail:sc@eduq.jp Tel:03-6674-1234 Fax:03-6674-1596